

F-3100A カエン ニューエースE  
株式会社ニイタカ

作成日： 1997年01月20日  
改訂日： 2024年03月29日

## 安全データシート(製品安全データシート)

### 【1. 化学品及び会社情報】

化学品の名称(製品名)	カエン ニューエースE
供給者の会社名称	株式会社ニイタカ
住所	〒532-8560 大阪市淀川区新高1-8-10
電話番号	06-6395-2717
FAX番号	06-6395-2536
緊急連絡電話番号	06-6395-6593
推奨用途	料理・鍋物・焼き物・水炊き用
使用上の制限	用途以外に使用しない

### 【2. 危険有害性の要約】

化学品のGHS分類	
物理化学的危険性	可燃性固体 区分 1
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん/ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 2
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 1(視覚器、全身毒性、中枢神経系) 区分 3(麻酔作用)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分 2(視覚器、中枢神経系)
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期(急性)	区分 3
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

#### GHSラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

可燃性固体  
飲み込むと有害  
強い眼刺激  
臓器の障害(視覚器、全身毒性、中枢神経系)  
眠気又はめまいのおそれ  
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ(視覚器、中枢神経系)  
水生生物に有害

注意書き

[安全対策]:

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
必要などき以外は、熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。  
煙/ガス/蒸気を吸入しないこと。  
取扱い後は手をよく洗うこと。  
屋外又は換気の良い場所だけで使用すること。  
環境への放出を避けること。  
保護手袋を着用すること。

[応急措置]:

飲み込んだ場合:

口をすすぐこと。  
 気分が悪いときは医師に連絡すること。  
 皮膚に付着した場合：  
 多量の水で洗うこと。  
 吸入した場合：  
 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。  
 眼に入った場合：  
 水で数分間注意深く洗うこと。  
 次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。  
 その後も洗浄を続けること。  
 眼の刺激が続く場合：  
 医師の診察／手当てを受けること。  
 ばく露又はばく露の懸念がある場合：  
 医師の診察／手当てを受けること。  
 火災の場合：  
 消火するために粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素又は砂を使用すること。  
 密閉して保管すること。  
 内容物／容器を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄すること。

[保管] :

[廃棄] :

【3. 組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別	混合物
化学名又は一般名	
成分	メタノール 固化剤 脂肪酸ナトリウム

【4. 応急措置】

吸入した場合	新鮮な空気の場合に移動する。
皮膚に付着した場合	水で十分に洗い流す。 刺激を感じたときは医師の診断を受ける。
眼に入った場合	眼を傷める恐れがあるので、コンタクトレンズは外し、 こすらずすぐに流水で15分以上洗い流す。 その後、すぐに本品またはSDSを持参して眼科医の診断を受ける。
飲み込んだ場合	直ちに口をすすがせて多量の水を飲ませる。 速やかに医師の診断を受ける。
その他	使用中に目が痛くなった場合、直ちに清浄な空気を入れて換気を行う。

【5. 火災時の措置】

適切な消火剤	初期火災には、粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂を用いる。 大規模火災には、散水、噴霧水、通常の泡消火剤を用いて空気を遮断する。
使ってはならない消火剤	知見なし
特有の消火方法	(周辺火災の場合) 消火作業は、風上から行う。周囲の設備等に散水して冷却する。 (着火した場合) 速やかに容器を安全な場所に移し、適切な消火剤を使用して消火する。 移動不可能な場合には、容器及び周辺に対して適切な消火剤で消火する。

【6. 漏出時の措置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	作業の際には、必ず保護具(保護手袋、保護眼鏡、保護衣、ゴム長靴等)を着用する。 屋内の場合、作業が終わるまで十分に換気を行う。 多量の場合、人を安全に退避させる。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起さないように注意する。 大量の水で希釈する場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境へ流出しないように注意する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	ほうき等、粉じんが飛散しない方法で回収する。
二次災害の防止策	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

## 【7. 取扱い及び保管上の注意】

取扱い	
技術的対策	取扱場所の近くに、緊急時に洗眼及び身体洗浄を行うための設備を設置する。 必要なとき以外は、火気その他着火源（静電を含む）から隔離する。 必ず換気をよくして使用する。
安全取扱注意事項	取扱い後は手をよく洗う。
接触回避	知見なし
保管	
安全な保管条件	容器を密閉して換気の良い場所で保管する。 他のものと混同しないように保管する。
安全な容器包装材料	他の容器に移し替える場合は、専用容器を使用する。 (商品名、使用方法、注意事項を明記した専用容器)

## 【8. ばく露防止及び保護措置】

保護具	
呼吸用保護具	必要に応じてマスクなどを着用
手の保護具	保護手袋(不浸透性を検討する)
眼、顔面の保護具	保護眼鏡
皮膚及び身体の保護具	保護衣

## 【9. 物理的及び化学的性質】

物理状態	固体
色	淡青色
臭い	特徴的な臭気
融点／凝固点	知見なし
沸点又は初留点及び沸騰範囲	65℃ ※メタノール100%として
可燃性	あり
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	5.5～44容量% ※メタノール100%として
引火点	12℃ ※メタノール100%として
自然発火点	464℃ ※メタノール100%として
分解温度	60℃以上で融解
pH	知見なし
動粘性率	知見なし
溶解度	知見なし
n-オクタノール／水分配係数 (log値)	-0.82～-0.66 ※メタノール100%として
蒸気圧	13 kPa
密度及び／又は相対密度	0.79±0.01 (20℃) ※メタノール100%として
相対ガス密度	知見なし
粒子特性	知見なし

## 【10. 安定性及び反応性】

反応性	酸化剤と接触すると反応する。
化学的安定性	通常の手扱い条件においては、光、熱、衝撃に対して安定である。
危険有害反応可能性	この物質の蒸気と空気はよく混合し、爆発性混合物を生成しやすい。 酸化剤と激しく反応し、火災や爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	高温での放置
混触危険物質	酸化剤、過酸化水素
危険有害な分解生成物	メタノールは、加熱分解により一酸化炭素、ホルムアルデヒドを生じる。

## 【11. 有害性情報】

急性毒性	
経口	区分 4 飲み込むと有害
経皮	知見なし
吸入:気体	区分に該当しない
吸入:蒸気	知見なし
吸入:粉じん／ミスト	知見なし
皮膚腐食性／刺激性	知見なし
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2 強い眼刺激
呼吸器感作性又は皮膚感作性	

呼吸器	知見なし
皮膚	知見なし
生殖細胞変異原性	知見なし
発がん性	知見なし
生殖毒性	知見なし
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1（視覚器、全身毒性、中枢神経系） 臓器の障害（視覚器、全身毒性、中枢神経系）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 3（麻酔作用） 眠気又はめまいのおそれ 区分 2（視覚器、中枢神経系） 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ（視覚器、中枢神経系）
誤えん有害性	知見なし

【12. 環境影響情報】

生態毒性	知見なし
残留性・分解性	知見なし
生態蓄積性	知見なし
土壌中の移動性	知見なし
オゾン層への有害性	知見なし

【13. 廃棄上の注意】

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報  
 【7. 取扱い及び保管上の注意】を参照する。  
 内容物を関連法規制ならびに地方自治体の基準に従い廃棄する。  
 使い終わった容器は、よく洗ってからリサイクル又は処分する。

【14. 輸送上の注意】

国連番号	2926
品名（国連輸送名）	その他の可燃性物質（有機物）（固体）（毒性のもの）
国連分類	4.1（可燃性物質類）
副次危険性等級	6.1（毒性を有する）
容器等級	II
輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策	【7. 取扱い及び保管上の注意】の項の記載による他、 運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、 損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
国内規制がある場合の規制情報	適用法令の定めるところに従う。

【15. 適用法令】

該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報	
労働安全衛生法	
名称等を表示すべき危険物及び有害物（法第57条、施行令第18条）（記載内容は営業秘密に相当する）	対象外
名称等を通知すべき危険物及び有害物（法第57条の2、施行令第18条の2）（記載内容は営業秘密に相当する）	対象外
皮膚等障害化学物質（則第594条の2）（記載内容は営業秘密に相当する）	対象外
特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（PRTR法、化管法）	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
消防法	危険物第2類 可燃性固体 引火性固体（指定数量1,000kg）（法第2条の7別表第1）
船舶安全法	可燃性物質（危規則第2条及び第3条、告示別表第1）
航空法	可燃性物質（施行規則第194条、告示別表第1）

【16. その他の情報】

記載内容の問い合わせ先	
会社名	株式会社ニイタカ
住所	〒532-8560 大阪市淀川区新高1-8-10
電話番号	06-6395-2717
FAX番号	06-6395-2536

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、危険性、有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意してください。

また、記載事項は通常の実験を想定した内容ですので、特別な取扱いをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上、お取り扱い願います。

なお、この情報は新しい知見に基づき予告なしに改訂されることがあります。